

## 令和4年度 第4回 若葉区区民対話会（千葉災害ボランティア連絡会）

### 〈次第〉

- 1 開会
- 2 区長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 意見交換

参加者の自己紹介の後、「区民の防災意識の向上について」というテーマで意見交換を行った。

### 〈意見交換の概要〉

#### ①災害時のボランティアと行政のかかわりについて

（千葉災害ボランティア連絡会）

- ・災害時に個人的に避難所等にボランティアに行ったところ、不審な顔をされた。
- ・災害ボランティアをする際に県外から来る人もおり、泊まる場所に困ることが多い。
- ・災害ボランティアが対応して良い内容かどうかの判断が難しい場合があり、その判断を行政にお願いしたい。

（区長）

- ・名札や腕章など、市等が許可しているもの等を携帯して行くのが良いと思う。
- ・宿泊場所については、例えば区役所の空いている部屋等をあける対応も考えられる。状況次第では、協定を結んでも良いと思う。気づいたらどんどん声をあげていただきたい。
- ・ボランティアさんの役割分担について、状況によるが災害時は一つ一つ行政が確認して判断をするのは余裕なく難しい。しかしながら、事前の協議は必要だと思う。
- ・ボランティアの指揮については、社会福祉協議会が立ち上げるボランティアセンターの指示を受けて動く形になるが、行政も連携すべきだと考えている。

## ②自主防災組織・避難所運営委員会の役員について

(千葉災害ボランティア連絡会)

- ・自治会で防災訓練を実施しているが、1～2年で自治会の防災担当者が変わっていくため、研修会などを定期的に持続していくのが大事ではないか。
- ・避難所運営のメンバーや組織が定まっていない避難所がある。役割分担をはっきりさせないと、避難所を開設しなければならないときに対応できない。行政として働きかけ、手を打つことはできないか。

(区長)

- ・1～2年で会長が変わる自治会が多いので、災害対応を自治会に任せるのは厳しい。自治会の中の自主防災組織を変わらないメンバーで担っていただくと良いと思う。
- ・避難所運営委員会の運営がうまくいっているところの情報を伝えて、見学に行っていただくのはどうか。
- ・どこの組織でも担い手不足が問題になっているため、NPOや学校、企業などと連携して考えていこうと思っている。
- ・現在模擬避難所を設けており、その中で情報交換の場を持てればと考えている。その他にも情報交換できる場を持てるか検討したい。

## ③防災ライセンス講座受講者の組織作りについて

(千葉災害ボランティア連絡会)

- ・「防災ライセンス講座」というものがあり、現在400名を超える受講者がいる。若葉区でも70名程度いる。その受講者を集めて、連携できるような組織づくりをお願いしたい。

(区長)

- ・組織作りについては、本庁所管課と共有し検討したい。